

2026 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 J C R フ ァ ー マ 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 芦 田 信
 (コード番号 4552 東証プライム市場)
 問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 伊 藤 洋
 E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

J C R ファーマ株式会社（代表取締役会長兼社長：芦田 信）は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表しました通期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせします。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,800	2,600	2,400	3,000	24.22
今回修正予想 (B)	39,500	400	400	1,600	13.12
増 減 額 (B-A)	1,700	△2,200	△2,000	△1,400	—
増 減 率 (%)	4.5	△84.6	△83.3	△46.7	—
(ご参考) 前期実績(2025 年 3 月期)	33,072	△6,650	△7,477	△4,759	△38.43

2. 修正の理由

売上高は、腎性貧血治療薬やファブリー病治療薬等が想定を上回る見込みであり、前回発表予想から 17 億円増の 395 億円に修正しました。内訳については＜別表＞をご参照ください。

売上原価は、売上の増加および製品構成の変化等により、前回発表予想から 12 億円増加する見込みです。

費用面では、2025 年 12 月にデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬 givinostat の日本における開発および商業化についての独占的ライセンス権を Italfarmaco 社から取得したことに伴う契約一時金を第 3 四半期に研究開発費に計上したため、研究開発費を前回発表予想から 15 億円増額修正しました。

販売費及び一般管理費は、神戸サイエンスパークセンター（原薬工場）の補助金確定に伴い、確定までに発生した減価償却費を計上したこと、および第 3 四半期までの実績等を踏

まえて、前回発表予想から 12 億円増額修正しました。

これらの結果、営業利益は前回発表予想から 22 億円減の 4 億円の、経常利益は前回発表予想から 20 億円減の 4 億円の、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想から 14 億円減の 16 億円の修正しました。

<別表：2026 年 3 月期業績予想数値修正後の売上高内訳予想>

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)
グロウジェクト®	17,800	17,800	—	—	18,098
イズカーゴ®	6,400	6,400	—	—	5,718
テムセル®HS 注	2,700	2,700	—	—	2,904
腎性貧血治療薬	3,100	3,600	500	16.1%	3,784
エポエチンアルファ BS 注「JCR」	800	1,100	300	37.5%	1,690
ダルベポエチンアルファ BS 注「JCR」	2,300	2,500	200	8.7%	2,093
アガルシダーゼベータ BS 点滴静注「JCR」	1,100	1,600	500	45.5%	1,149
医薬品合計	31,100	32,100	1,000	3.2%	31,655
契約金収入	5,500	5,800	300	5.5%	517
その他	1,200	1,600	400	33.3%	898
売上高合計	37,800	39,500	1,700	4.5%	33,072

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上